



■ 位置・面積

テクノは兵庫県南西部のたつの市・上郡町・佐用町にまたがる中山間地域に位置し、大阪から車で約1時間半。播磨自動車道を通じて関西圏・中四国圏へのアクセスにも優れています。

全体計画面積は約2,010haで、まず、第1工区について産業・住宅・学術研究・公園・商業など多様な機能が整備されてきました。広大な面積と立地特性を生かし、「自然と共生しながら先端技術が育まれる都市」を目指しています。

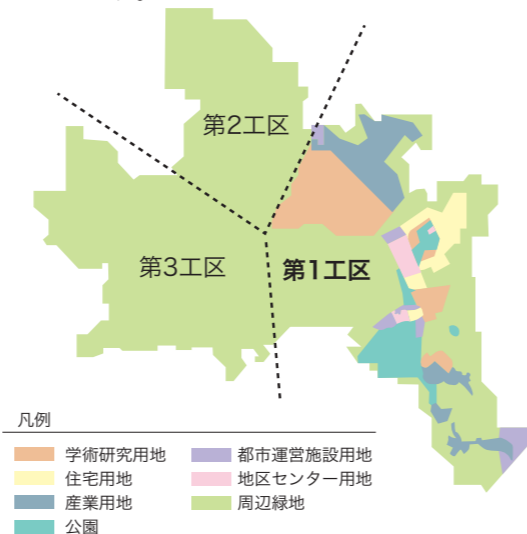


■ テクノの変遷

レクリエーション都市開発の計画中止 旧3町が県に支援を要請	1970年	民間企業が2,000haのレクリエーション都市開発を計画
兵庫県が「西播磨テクノポリス基本構想」策定 (その後テクノポリス指定)	1976年	新宮、上郡、三日月の旧3町が用地取得に協力
第1工区(約960ha)の開発着手(インフラ整備開始)	1982年	播磨科学公園都市基本計画を策定
播磨科学公園都市「まちびらき」、大型放射光施設「SPring-8」供用開始	1983年	
播磨自動車道(播磨JCT～播磨新宮IC)が開通	1986年	兵庫県立大学理学部をテクノに設置
播磨自動車道全線が開通(広域アクセス向上)	1990年	
	1997年	兵庫県立粒子線医療センターを開設
	2001年	
	2003年	X線自由電子レーザー施設「SACLA」供用開始
	2012年	
	2022年	播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会開始
	2024年	

■ 現在のテクノ

テクノは、研究と暮らしが共に発展するまちを目指して整備が進められ、第1工区(約960ha)では先端科学の施設や大学、医療・福祉などの拠点ができあがってきましたが、第2・第3工区(計約1,050ha)については、人口の動向や財政面の事情などから、整備を見合わせています。



■ テクノ内施設の主な運営主体

テクノのまちの管理、運営には、県やテクノを市町域とする3市町、播磨高原広域事務組合などの行政機関や各種機関、さらに、住民、立地企業からなる播磨科学公園都市まちづくり協議会など、多様な主体が関わっています。より良いまちづくりを進めていくためには、まちづくりに関わる多様な方々の声を集め、一緒に考え、取り組んでいくことが重要です。

公共施設 インフラ 等	西播磨県民局	医療施設	小・中学校	斎場	道路	上下水道	光都プラザ	SPring-8
管理・運営	兵庫県	民間企業 社会福祉法人 兵庫県	播磨高原 広域事務組合	播磨高原 広域事務組合	兵庫県 たつの市 上郡町	播磨高原 広域事務組合	兵庫県 (企業庁)	国立研究 開発法人 理化学研究所

播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会 マネジメント会議

【事務局】兵庫県企業庁 地域整備振興課
【電話番号】078-362-3698
【E-mail】chiikiseibi@pref.hyogo.lg.jp

テクノのあり方検討
についての詳細情
報はこちらをご覧
ください
(兵庫県企業庁HP)



お問い合わせ先

テクノの未来を考える
ニュースレター

Vol.

1

2025年10月

テクノの 未来を 考える

全国的に少子化が進み、2004年をピークに我が国の総人口は年々減少しています。テクノ第1工区は人口増加期に約5,100人の定住を目指して計画されましたが、現在は人口減少社会となったこともあり、当初目標には届いていません。まちびらきから30年近くが経過し、社会や世界の状況も大きく変化しました。こうした状況を踏まえ、私たちがこれからも幸せに暮らしていけるよう、テクノの未来を一緒に考えていきましょう。

テクノ：播磨科学公園都市

テクノの未来を一緒に考えていきましょう！

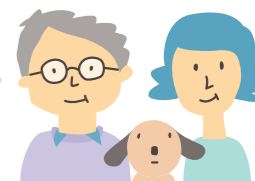
テクノは、「人と自然と科学が調和する高次元機能都市」として歩みを進めてきました。その理念を継承しながら、より多様な暮らし方や働き方に応える新しいまちの姿を一緒に考えていきましょう。



自動運転やドローン配送など最先端が身近にある生活に期待！

あなたの声が
持続可能なまちを
築きます

自然と触れ合いながら安心して暮らし続けられるまちにしたい！



※吹き出しの意見はこれまでの行政職員による検討の中で出た意見を基にしています

検討協議会でテクノの未来を考える議論が始まっています！

■ 播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会について

テクノは令和9年度にまちびらき30周年を迎えます。都市環境の変化により、定住人口の停滞や施設老朽化といった課題が顕在化したことから、「播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会」が設置されました。持続可能な都市運営と新しい時代にふさわしいまちの姿を、「未来志向」と「課題対応」の両面から検討しています。

検討協議会構成

- ・兵庫県(副知事、関係部局長等)
- ・3市町(たつの市長・上郡町長・佐用町長)
- ・有識者、アドバイザー

■ 今後のスケジュール(予定)

2024(R6)年

・検討協議会の設置
・課題・論点の抽出

2025(R7)年

・一緒に考えていく場の設置
・地域の皆さんの意見の聴取
・課題・論点についての検討

10/25

2026(R8)年

・地域の皆さんの意見の聴取
・今後のあり方の基本的な方向性やイメージについて検討

まちびらき30周年

2027(R9)年

・持続可能な都市運営に向けた基本的な方向性のとりまとめ

2025年の西播磨フロンティア祭では、テクノの未来について地域の方々の考えをお聞かせいただく場をつくりたいと思っています。ぜひご参加ください！

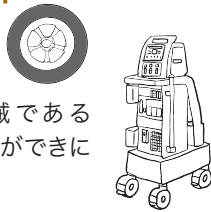


世界最小級のものが見える 世界最大級の施設があります

テクノを代表する研究施設「SPring-8」に「SACLA」。最先端の研究を進める世界的にも重要な施設です。さらに「SPring-8 II」へのアップグレードも予定されており、学術研究や官民問わず様々な最先端の研究に活用される見込みです。

こんな新技術に活かされています！

【低燃費タイヤ】ゴムの中の微粒子の観察結果を活用して性能を向上。
【ECMO】肺の機能を助ける機械であるECMO。患者とつながる管の中に血栓ができにくい素材を開発。



科学×技術で最先端を生み出す産業があります

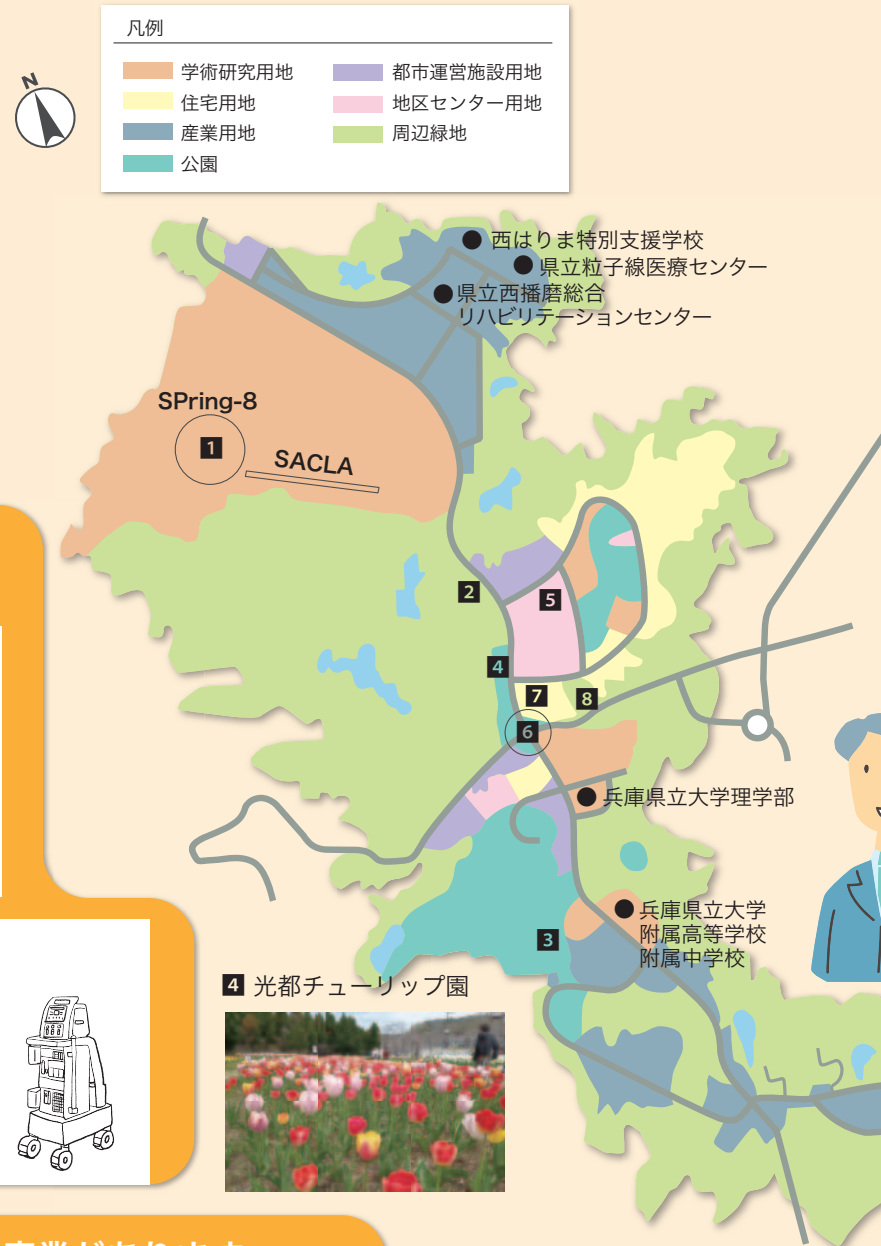
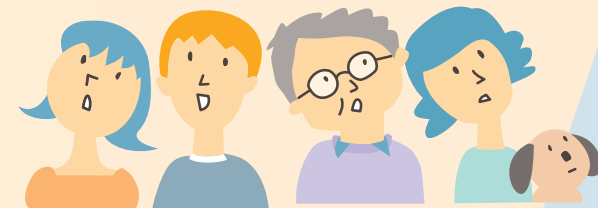
先端産業の集積拠点として研究開発から製品化までいろいろな産業が展開されています。SPring-8やSACLAを核とした研究基盤のもと、様々な企業が立地し、技術開発が行われています。

小学校から大学が勢揃い 自然と科学に囲まれて学べます

小学校から大学、さらに特別支援学校まで揃っているテクノ。研究機関や大学のキャンパスに国内外の研究者が集まり、何だか学術的な雰囲気がありますよね。テクノならではの刺激のある学習環境といえます。

豊かな自然と特徴的な建築物の調和があります

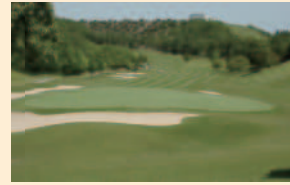
テクノは、有名な建築家などの参画により策定された、「アーバンデザイン計画」に基づき、丁寧に作られました。今も美しいこの景観は、こだわりを受け継ぎながら関わってきた多くの人と共に成熟してきたものです。広い青空に星空、四季を彩るメタセコイア並木、特徴的な建築物の数々。テクノならではの風景です。



1 SPring-8



2 ストークヒル
ゴルフクラブ



3 ダイセル播磨
光都サッカー場



4 光都チューリップ園



5 播磨高原東小学校



7 サンライフ光都



6 センターサークル



8 オプトハイツ

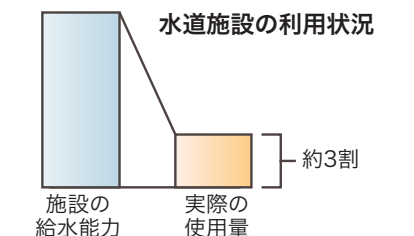


毎日の買い物は どうしていますか？

普段からちょっとドライブしてテクノの外に出かけて買い物する人も多いでしょうか？テクノの中にも買い物施設としてコープやコンビニなどが立地しています。皆さんはどんなふうに使っているのでしょうか。

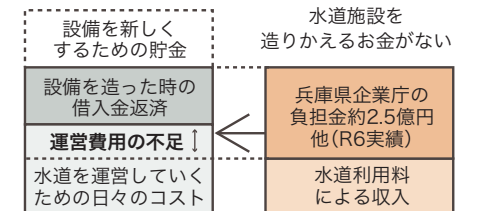
使いきれていない施設があります

例えばテクノの水道施設は、8,000m³/日の規模で整備されています。しかし、実際に使われているのはその約3割ほどで、施設の給水能力に対して利用が少ないのが現状です。使っていない割に、かかる経費が大きくなっています。



上下水道や建物の維持管理や更新を 考えていく必要があります

上下水道や建物などの維持管理、さらには老朽化に伴う更新も必要となりますが、自治体財政が厳しさを増す中で、その費用をどのようにまかなうかが深刻な問題となっています。



公共交通が利用しづらく なっています

テクノの公共交通機関には、ウイング神姫バス、てくてくバス、上郡町コミュニティバス、コミバス佐用など、さまざまな路線があり、住民の大切な足となっています。しかし運行費用や運転手確保の問題なども生じる中で減便や終バスの繰り上げが進み、車を運転できない子どもや高齢者にとって、移動手段が少なくなっています。

自然に囲まれた暮らしを守るために 災害対策を考えていく必要があります

自然に囲まれた暮らしは、テクノの大きな魅力です。ガーデニングや家庭菜園を楽しむ方も多いのではないのでしょうか。ただ近年では、シカがテクノを歩き回る姿も見られ、獣害対策も考えていく必要がありそうです。

身近な医療はどうしていますか？

テクノには粒子線医療センター、リハビリテーション西播磨病院、光都デンタルクリニックの3つの医療機関があります。周辺地域にも医療機関があるとはいえ、住民のかかりつけ医など身近な医療をどう確保するかが悩ましい点です。
※粒子線医療センターは令和9年度末までに治療を停止する予定であり、その後の施設の活用策等についての検討が進められています。

テクノの財政はこのような状況です

テクノの運営に関わる兵庫県、たつの市、上郡町、佐用町などのお財布事情も余裕があるとは言えません。例えば兵庫県企業庁の地域整備事業会計の場合、このままでは令和20年度には最大で802億円の資金不足に陥る見込みです(令和5年度での試算)。財政は厳しい状況です。